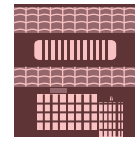


# 京町家通信

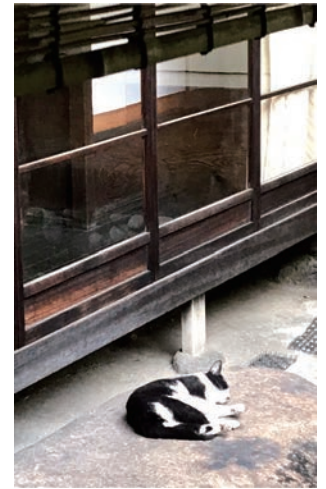
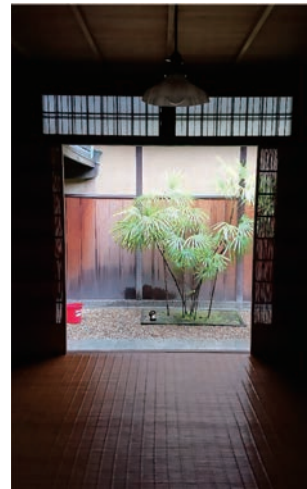
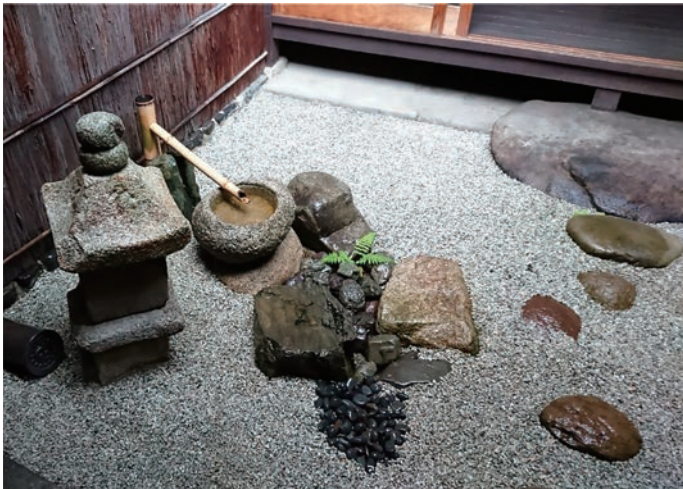
KYOTO' s  
きょうの  
TODAY' s



MACHIYA  
まちや  
MACHIYA

KYOMACHIYA PRESS Vol.127

## 大きな変化の年に



新年度が始まってすでに3ヶ月がたちました。皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

思いがけない新型コロナウイルスの感染拡大で、予定していた行事は中止せざるを得なくなりました。まだまだ予断を許さない状況ですが、対応を考えながら今年度の活動を進めていきたいと思っております。

外出の自粛や他府県をまたぐ往來の自粛などで、なかなか身動きの取りにくい日々でしたが、事務局では新年度の計画の準備を進めております。小学生を対象にした、伝統文化親子教室は例年5月から開始しておりましたが、今年は9月から始める予定です。(後日ご案内いたします)また京町家設計塾につきましても、昨年の第3期生は途中から新型コロナウイルスの影響で集まることができずに6月ようやく最終回を開催しました。残念ながら全員参加とはいきませんでした。それぞれに個性的な町家活用案を提案して下さいました。第4期は10月開始をめどに計画するつもりでおります。募集、内容につきましては後日お知らせをするつもりです。

町家再生の実践活動につきましては、いくつかのご相談もあり、計画がまとまれば現場が始まります。状況が落ち着きましたら、見学会やワークショップなども進めていきたいと思っております。

町家の改修を考えるときに、いくつかのキーワードがありますが、その中でも通風・換気は大切なポイントです。私たちは当たり前のように建物を考えるときに風通し、風の通り道はどの

ようになるのかを考えていますが、近年の建物はエアコンなどで機械的に風や温度を調節することが主流になっています。今回の感染対策として「換気」が提唱され、エアコンを入れていても窓を開けるといことが当たり前のようになっていますが、果たして本当に風通しよく、換気がされているのか気になる場所です。風の通り道を考えて設計をされているように思えない建物も多々ありますし、窓を開けないようにしてある建物もあります。今回のことで、私たちはもう一度建物の環境を考えるきっかけを与えられたのではないのでしょうか。家に風を通すということが本当に大切なことだということ町家にくらす私たちは身を以て感じておりますが、その基本的なことがいつの間にか自然ではなく人工的なものにすり替わっていたことを改めて感じさせられた今回の出来事でした。家の中に風を通すためにはまちの環境も大切です。残念ながらかつての町家を取り巻く優れた環境は新しく計画されたビルなどで阻害されているところが多いのですが、今回のことをきっかけとして安心、安全に暮らせるまちを考え直すことも必要だと思っております。町家は新しい環境を考えるためにますます重要な役割を担うだろうと思っております。先達たちが培ってきた知恵と技術はこれまで以上に大切になるでしょう。

本年度も町家再生の活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

京町家再生研究会理事長 小島富佐江



6月27日、最終プレゼンをおこないました。今回の課題は「釜座町町家を再生する」。受講生9名の図面提出はすでに終わっていたのですが、この社会情勢で集まることができず、ようやく可能な方々3名が集まっていただきました。それぞれ自由な発想と思入れが盛りだくさんでとても興味深いものでした。

今回印象的だったのは、通り庭や火袋の空間をいかした提案が多かったことです。高度経済成長期、土間を上げ、2階の床を広げて、部屋を確保しようとしていた動きとは違って、若い方々は魅力的な場所と考えているようです。改めて京町家の空間の良さと活かし方について考えさせられました。

今回は第1回目が大雨で中止となるなど、受講生の皆様には大変なご苦労の中、最後まで取り組んでいただきました。今後も実践などの活動に参加しながら、京町家設計への理解を深めていただき、次の世代につなげてほしい、と期待しています。



兵庫県豊岡市出石で新しく4月から立ち上げたNPO「出石町家プラス」の事務局、田口さんより「長屋再生を検討中、京都の事例を見てみたい」というご依頼があり、もみじの小路に案内しました。当日は生憎の雨でしたが、朝から車を飛ばして来られた総勢13名のみなさんと矢尾定さんでお昼ごはんを囲みながらお話。もみじの小路では、設計担当の木下、内田2名が案内。テナントの一人、ガーデンラボの主催者ケントさんが急遽お部屋を開放してくださいするなど、多くの皆さんにお世話になりました。その後は、オーナーとお話、新たに始まる2期工事（奥の路地長屋3軒の改修）のかかり始めも見学いただきました。

店舗改修の事例として、近くのホブソンスカフェを訪れるなど、とても積極的。若い女性が3人も参加され、4月から職員にいられたという若手男子もおられ、これからの町家再生に希望の光が感じられます。

久しぶりに現場で交流する機会となり、私たちもとても楽しく、充実したひと時となりました。

## 京町家再生研究会

5月16日土曜日13時30分から14時、総会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面表決での開催となりました。特定非営利活動法人に移行してからは初めてのことで。

理事5名が本部に集まり、みなさまからいただいた書面表決を確認。第1号議案 2019年度事業報告及び活動計算書承認の件(自2019年4月1日 至2020年3月31日)、第2号議案 2019年度事業計画及び予算案承認の件(自2020年4月1日 至2021年3月31日)、いずれも過半数の賛成をもって可決されました。

もともと京町家は住みながら仕事をする場所でした。家で仕事をするのが当たり前、人間がずっと居られる場所であるはずで。今回の自宅待機やテレワークなどの状況を踏まえて、京町家のあり方を見直す事ができそうです。あらためてみなさまのお恵とご協力が必要になってまいります。今年度もよろしくお願い申し上げます。

## 京町家友の会 2020年度 事業報告

例年、総会と合わせて多くの皆様にお集まりいただき、懇親会を開催してきましたが、こちらも初めて、賛否表明書及び委任状による書面での決議といたしました。4月25日までにいただいたお返事で、第1号議案(2019年度京町家友の会活動報告について)、第2号議案(2020年度京町家友の会活動計画について)いずれも賛成多数でご承認いただきました。

いただいたご意見の中には、「この時期に焦らず、しかし、しっかりと変えるべきものやこと、残すべきものや心を見据えて」活動のやり方、土台の見直し、創ること、などのご提案もありました。これまで通り、あるいは元に戻るというのではなく、次の時代に必要なこと、そのために今できることをみなさまと一緒に考えながら、活動を進めたいと思っています。今年度もご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ホームページをリニューアル

すでにお気付きの方々も多いかと思いますが、この度ホームページをリニューアルいたしました。新しいサイトはこちらです。

<http://saisei.kyomachiya.net>



特定非営利活動法人

京町家再生研究会 ・ 京町家友の会

604-8214 京都市中京区新町通錦小路上る百足屋町384番

TEL 075-221-3340

FAX 075-231-0727

E-mail saisei@kyomachiya.net (京町家再生研究会)

tomonokai@kyomachiya.net (京町家友の会)

Instagram

Facebook



## 京町家情報センター

604-8241 京都市中京区三条通新町西入釜座町32番

TEL 075-213-1430

FAX 075-213-3013

E-mail johok@kyomachiya.net

オーナー登録数: 延242  
ユーザー登録数: 延1800  
物件登録数: 延1937  
成約件数: 延231  
(2019年11月6日現在)